

「会社の設立方法について」

司法書士 猪野研一氏 講演会

平成24年7月2日（月）実施

参加生徒 商業科 1年生42名 2年生25名 合計67名

人間経済コースでは、社会経済や人間生活に対する興味・関心を高めるとともに、課題探求学習では、課題の中から各自が新たな発見と疑問を見つけ出し、それをレポートしていく「新たな価値を生み出す学習」を実施しています。

今回は、これまでに課題探求で進めている「会社の設立」の内容から、司法書士の猪野研一氏と奥村洋史氏のお二人に来校していただき、「司法書士の仕事と会社設立の手続きについて」の講演をしていただきました。会社を作る作業の簡単さに対し、信頼と人間関係の重要性に驚きが見られました。



多岐にわたる司法書士の仕事内容に驚きです。



茨城新聞・常陽新聞・東京新聞の記者の取材もあり緊張の様子で始まりました。



定款の記入を実践し、分からないところの質問が多く出ていました。



この講演を聴いて、夢である会社設立に活かしていきたいという思いが強くなったようで、今後の課題探求が楽しみです。

参加生徒感想

商業科 3年 1組 井坂 美奈

講演会を聞いて分かったこと

会社を設立するにあたっての流れや、書類の内容など、今まで知らなかったことを学べて良かった。司法書士という仕事の内容についても知ることができて、とても責任があり、やりがいのある仕事だと感じた。

講演会を聞いての感想

会社を設立する事は、簡単にできるものかもしれないが、そこにいたるまでに、信用のできるビジネスパートナーや司法書士といった人に出会うことも大切だし、人とのつながりを大事にしていくことが、重要なのだと思いました。また、自分のやる気しだいで、会社を作ることができるなんて聞いて、今まで考えもしなかった会社経営というものが、身近に感じた反面、会社を作る過程などを知ることができて良かった。

商業科 1年 1組 大武 葉月

講演を聞いてわかったこと

資本金の目安は、自分で調べた時は、1円からでも良いと記載されていた時は、あまり大事ではないのだと思ったけれど、資本金300万円あっても3ヶ月で無くなってしまう会社もあり、自分が会社を作るのに1円で簡単にできても、心もとない気がした。また、経営者と出資者が違うということも、初めて分かったし、会社を作るには、専門家の司法書士に相談したほうが、早く安心してできることもわかった。

講演を聞いての感想

定款は複雑だと思っていたけど、実際に見てみると簡単な記載で驚いた。会社も1週間程度で作ることができるなど、これまでに自分では調べきれないことを説明してもらえた。また、株式会社ならではの得なども知ることができた。慣れない言葉が多かったが、その中でも信頼と人間関係という言葉が多く聞けて、会社に必要なものは「人間関係」「信頼」「はっきりとした目的」であると感じた。